

第9回「科学の甲子園ジュニア全国大会」宮崎県予選会 一次予選の結果について

7月31日（土）に行われた標記の大会において、一次予選通過チームは、下記のとおりとなりました。たくさんの御参加ありがとうございました。

記

- 一次予選 通過8チーム（登録番号）

1 2 8 12

16 17 24 25

以上8チーム

【連絡事項】

- 結果の詳細につきましては、各学校へ文書で通知いたします。
- 令和3年8月28日（土）に予定している二次予選は、現在発令されております新型コロナウイルス感染拡大に伴う「感染拡大緊急警報」を受け、実施日を延期したり、中止の判断をしたりする可能性があります。変更がある場合は、当ホームページ上で御連絡いたします。
- 一次予選を通過できなかった皆さんの二次予選の競技の見学及び講演会の参加については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、中止とさせていただきます。
- 今後も、当ホームページをこまめに御確認ください。

第9回「科学の甲子園ジュニア全国大会」 宮崎県予選会 二次予選 参加者のみなさんへ

一次予選通過おめでとうございます。

二次予選は、一次予選の上位8チームによる、実技競技を実施します。また、千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター 古田貴之様による科学講話も計画しています。

優勝チーム及び準優勝チームは、12月3日（金）～5日（日）に、兵庫県姫路市で開催される「第9回科学の甲子園ジュニア全国大会」への出場資格を獲得します。

なお、以下の大会の詳細につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の状況に伴い、実施日を延期したり、中止の判断をしたりする可能性があります。ホームページをこまめに御確認ください。

1 期 日

令和3年8月28日（土）

2 会 場

宮崎市佐土原総合文化センター（宮崎市佐土原町下田島20527-4）

3 日 程

(1) 受付	12:00～12:30
(2) 開会式・オリエンテーション	12:30～12:50
(3) 実技競技（80分）	13:00～14:20
(4) 講演会（90分）	14:30～16:00
(5) 閉会式・表彰式・諸連絡	16:00～16:30

4 競技内容と方法

実技試験（二次予選）

ものづくりの能力、コミュニケーション能力などを用いて課題を解決する力を競うものとする。競技時間は、80分とする。

※ 実技競技の詳細は、ホームページ上に掲載されている「実技競技課題」で御確認ください。

5 持 参 物

定規、筆記用具、飲料水

6 注 意 点

- (1) 当日は、各チームの選手3人がそろった時点で、代表者が受付を行ってください。
なお、一次予選で登録した選手のみが参加できます。(二次予選における登録選手の変更はできません。)
- (2) 競技中は、会場を途中退席することはできません。ただし、トイレに行く場合などには、途中退席ができますので係員に申し出てください。
- (3) 筆記競技、実技競技、総合順位については、当日の表彰式で発表します。
- (4) 県予選会の総合順位が1位、2位になったチームは、兵庫県姫路市で開催される「第9回科学の甲子園ジュニア全国大会」へ出場できます。
なお、全国大会に出場するチームは、全国大会当日までに、研修会を実施する予定です。(詳細は、別途連絡します。)
- (5) 新型コロナウイルス感染拡大防止の対応として、会場での検温と消毒を行い入室し、原則マスクを着用して競技に参加します。発熱等の場合は、会場への入室及び競技への参加はできません。
- (6) 新型コロナウイルスの感染の拡大状況に伴い、実施内容、実施期日、開催の有無について変更する場合があります。ホームページ及び各学校を通じて、連絡します。
なお、急な変更等が生じる可能性があります。ホームページをこまめに御確認ください。
- (7) 一次予選を通過できなかったチームの選手と保護者については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、二次予選の競技の見学と講演等への参加は、中止とさせていただきます。
- (8) やむを得ず欠席する場合は、下の連絡先に連絡をお願いします。
宮崎県教育庁 義務教育課 義務教育・学力向上担当 日置 洋平
8月27日(金)まで 0985-26-7239
8月28日(土)当日 090-7533-2186

7 生徒を送迎される保護者のみなさまへ

- (1) 交通安全に御注意の上、保護者の責任のもと、生徒の送迎をお願いします。
- (2) 駐車場につきましては、会場の駐車場をご利用ください。
- (3) 競技中、保護者は、大ホールでの参観が可能となります。なお、競技途中の選手との会話はできません。

第9回「科学の甲子園ジュニア全国大会」宮崎県予選会二次予選
実技競技課題「飛べ！ペーパーロケット」について

実技競技課題の内容は、以下のとおりです。

各チームで、事前に取り組み、二次予選会に臨んでください。



1 競技のテーマ

用意された材料（画用紙、ポリ袋、セロハンテープ等）でロケットと発射装置を作り、ロケットをより遠くへ飛ばす。

2 競技における製作物

(1) ペーパーロケット 3機

- ① 動力は、ポリ袋から押し出された空気を使うこと。
- ② ロケットの形状は筒状とする。その他付属物を取り付けてもよいが、長さは10 cm以上とする。
- ③ ロケット1機分の機体は、同じ色の色画用紙1枚でつくること。
- ④ 与えられた材料の範囲ならば、チームでロケットを何機作製してもよいが、競技用のロケットはそのうちの3機のみ（1～3の番号をつける）を使用する。

(2) 発射装置

- ① 発射装置1機は、ポリ袋、ストロー、白画用紙（厚口）各1個でつくること。
- ② 発射装置の数は、チーム毎に決めてよい。
- ③ 発射のとき、発射装置はスタート位置の長机の上に置くものとする。
- ④ 発射装置に、動力となるポリ袋やストローを配置するようにする。

3 使用するもの<チーム毎に配付するもの>

品名	数	使い方の説明
6色の色画用紙（八つ切り）	各1	ロケットの材料。1枚で1機。補充なし。
白画用紙 厚口（八つ切り）	3	発射装置の材料。1枚で1機。補充なし。
ジッパー付きポリ袋 （縦27cm×横28cm）	3	ロケットの動力。ロケット、発射装置1機につき1枚。
ストロー （直径4.5mm、長さ210mm）	3	発射装置1機につき、1本。補充なし。
セロテープ	3	テープカット用金具付き。追加補充有り。

※ その他、はさみ、マジックペン等は、会場で準備する。

※ 筆記用具、定規は、各自持参する。

4 競技方法

- (1) ロケット及び発射装置の製作、テスト飛行（60分）
- (2) 競技・審査（20分）
 - ・ 決まった順番で、各チーム1号機、2号機、3号機を順に発射させる。それぞれの飛距離を測定し、チームの得点を決定する。
 - ・ 飛距離の測定方法は、スタート地点（テーブルの位置）から、ロケットが止まった場所の最もスタート地点から遠い点とする。

5 その他

- (1) 事前に提示した課題を基に、各チームで準備を行い、当日の実技競技に臨んでください。
- (2) 事前に試作したロケット及び発射台は、当日の実技会場への持ち込みはできません。再度、競技会場で与えられた材料で、製作とテスト飛行を行ってください。